

各関係機関長 殿  
病害虫防除員

徳島県立農林水産総合技術支援センター  
病害虫防除所長  
(公印省略)

平成20年度農作物病害虫発生予察情報について

平成20年度農作物病害虫発生予察特殊報第2号を発表したので送付します。

平成20年度農作物病害虫発生予察特殊報第2号

平成20年5月30日  
徳島県

- 1 病害虫名：ランえそ斑紋病(ランえそ斑紋ウイルス *Orchid fleck virus*:OFV)
- 2 発生作物：シンビジウム
- 3 発生地域：徳島市
- 4 発生の経過  
平成20年4月中旬、徳島市において株全体の葉に退緑斑とえそ斑を生じる株が発生したため、当センター農業研究所病害虫担当においてRT-PCRによりウイルス検定を行うとともに、岡山大学資源科学生物研究所に確認を依頼したところ、ランえそ斑紋病であることが判明した。  
ランえそ斑紋病は、千葉県、東京都、岡山県、山口県、高知県、宮崎県、鹿児島県などで発生が確認されている。
- 5 被害の特徴等
  - 1) 病徴  
葉脈間に短冊形あるいは円形の退緑斑を生じ、のちえそ化してくる。若い葉では退緑斑が多く、成熟した葉では退緑斑とえそ斑の両方によるモザイク斑となる。
  - 2) 伝染方法  
本ウイルスは、オンシツヒメハダニにより媒介される。幼虫はウイルスを伝搬しないが、第2若虫および成虫はウイルスを伝搬する。保毒成虫は少なくとも20日以上ウイルスの伝搬能力を持つことから伝搬様式は永続型と考えられている。  
汁液伝染するが、効率的な感染には30℃以上の温度が必要とされていることや、粗汁液中の保存限度が室温で30～60分であることから、圃場内での作業等で伝染する可能性は低いと考えられる。
  - 3) 寄主植物  
シンビジウムのほか、シュンラン、オンシジウム、デンドロビウム、エビネなど40属以上のラン科植物  
ラン科以外の植物  
全身感染 アカザ科 フダンソウ、ミナトアカザ、キノア  
キョウチクトウ科 ツルニチニチソウ  
アオイ科 トロロアオイ  
局部感染 ツルナ科 (ハマミズナ科) ツルナ  
アカザ科 アカザ  
マメ科 ササゲ、エビスグサ、インゲンマメ  
ナス科 ニコチアーナ グルチノーザ、ペチュニア、  
ヨウシュチョウセンアサガオ

キク科	アキノノゲシ
ヒユ科	イヌビユ
ヒルガオ科	アサガオ
トウダイグサ科	エノキグサ
アオイ科	ムクゲ
ミカン科	ハッサク

## 6 防除上の注意等

- 1) 媒介虫であるオンシツヒメハダニを防除する。
- 2) 発病株は見つけ次第除去し、土中に埋めるか焼却する。圃場周辺には絶対に捨てない。

